

# 稲山会オンライン通信③

2021年7月15日配信

発行人：行方正幸 発行所：稲門山の会事務局 TEL 03-3367-3723 FAX 03-3367-8150 ©稲門山の会1998



グランドジョラス、モンテローザ、ドロミテ 1969年：行方OB撮影

## 1. 稲山会通信だよ。全員集合♡

稲山会通信オンラインという、メーリングリストを活用したニュースレターの第3号を配信いたします。今回は、現役、早稲田大学山の会の活動も再開し、寄せられた個人山行の報告書を掲載いたしました。ホームページは本格的に再開するまで、オンライン通信をよろしく願いいたします。

それ以外にも、会員の皆さんからメールで頂いた登山報告、近況、日常のお知らせ等で是非とも会員に読んでいただきたいものをニュース・レターで配信しようと思います。(勿論配信する前にご了解を頂きます)。つきまして皆さんの山の思い出、苦労話、短歌・俳句、山の写真等、普段の気楽なメールで結構なのでお願いします。皆さんの楽しいメールや手紙をお待ちしております。

【行方正幸記】

## 2. お知らせ

### (1) 早稲田大学校友会事務局より (2021.06.22 メール)

稲門山の会代表 行方正幸さま

お世話になっております。早大校友会事務局の森田です。先日は「稲門だより(特別企画)」にご執筆いただきましてありがとうございます。また、ご参考として貴会誌もお送りいただき、感謝申し上げます。それで次号の8月号(7/15発行)に御会の紹介記事を掲載したく存じますが、「連絡先」につきましてお問い合わせいたします。

<web>ページとして <http://www.waseda-wms.net/OBtop/obtop.html>

を記載させていただいてもよろしいでしょうか？

お忙しい中恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ■早稲田学報

校友会発行の校友コミュニケーション誌。

奇数月15日、16万2,000部発行。

<http://www.wasedaalumni.jp/kno/w/gakuho.html>

稲門山の会  
当会は、日本がマナスルを初登頂した1956年に誕生した「早稲田大学山の会」の卒業生と現役学生との親睦会である。会員数は約350人。  
数ある早稲田の登山系サークルの中でも、日本全国の山々のみならず、ヒマラヤ、アフリカ、アンデスへの遠征や、アマゾン川下りなど六十数年間ユニークな活動を実施している。  
2021年の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う大学・校友会活動の中止・延期の要請を受けて、2月7日(日)ホテルで予定していた総会を中止し、卒業生と現役学生によるオンライン総会に切り替えた。オンラインにもかわらず活発な意見交換が行われ、21年も安全な登山と、山を通じた親睦と交流を誓い合った。  
(行方正幸記)



2020年の新年会・総会の集合写真。22年はみんなでもた、楽しい新年会・総会で会いましょう



<http://www.waseda-wms.net/OBtop/obtop.html>

## (2) 富士山峯入り修行のご案内 (2021.06.18 笠原 0B(S40 卒) メール)

「第10回富士山峯入り修行」の案内書が届きましたのでご紹介します。  
全6頁ありますが(送信を軽くするため)1、2頁のみを添付します。  
ご興味のある方はご連絡ください。他の頁も送ります。

(要約) :

昨年はコロナ禍中止でしたが、今年は諸情勢を見極め、万全の態勢で進めます。

期日 : 2021年/21(土)~24(火)の2泊4日

田子の浦~村山古道~富士山往復の行程に1日加えて、富士山東麓の須山に下り、御殿場・裾野両市の拝所を巡回します。途中参加・離脱・キセル参加可です。

第1日目 8/21(土) 8:00 吉原集合→鈴川海岸→日吉浅間神社→〔村山ジャンボ泊〕

第2日目 8/22(日) 村山古道標高差2000m→富士宮口新六合目〔宝永山荘泊〕

第3日目 8/23(月) 山頂往復・お鉢巡り・・・富士山頂で柱源護摩供〔宝永山荘泊〕

第4日目 8/24(火) 須山御胎内からバス、三島まで

(添付) 「富士山峯入り修行 P.1,2 21.6.17」

(補足説明)

前回及び初回の参加は次の通り WMS-HP に掲載中です。

### ① 2015年8/23-25(前回) 峯入り同行記

・・・廣瀬、太郎良、佐久間、笠原各0B、山根・薬師寺(廣瀬0B友人)参加

<http://www.waseda-wms.net/ob2015report/ob2015report.html>

### ② 2010年6/30~7/3 富士山村山古道登山と開山祭

<http://www.waseda-wms.net/ob2010report/ob2010report.html>

#### 1. ルート

村山古道は平安時代からの富士登山ルートであり、幕末の英国公使オールコックが外国人として初めて富士山に登ったルートですが、明治の廃仏毀釈で登山道が廃れ不明になっていました。篤志家の畠堀さんが古文書調査や現地踏査などを経て「村山古道」として発掘し、維持に尽力されるとともに、修験道総本山聖護院とともに活動してこられました。これらの活動が富士山の世界(文化)遺産登録にも寄与されました。

#### 2. 歴史・文化的意義

オールコックの富士登山から150年目を記念した行事(上記②)ではイギリス大使夫妻も村山浅間神社へ来席し、地元の中学生在が総合授業として禪ひとつで水垢離し、山伏達は大きな護摩を築いて焚くなど盛大に行われました。詳記を省きますが、「峯入り修行」に参加することは意義深いと考え、ご紹介するとともにご同行くだされば大歓迎です。

(付記)

#### 1. 私の参加構想(途中参加・途中離脱)

自宅から徒歩にての富士登山を目論んできましたので、今回の峯入り第1日目泊地の「村山ジャンボ」へ自宅から歩いて合流することを企てています。

8/19 (木) 3:00 に自宅を発し、湘南台→伊勢原→秦野市内泊

8/20 (金) →R246→御殿場泊

8/21 (土) →十里木→村山ジャンボ (泊地合流)

8/22 (日) ~8/23 (月) 峯入り修行に参加、8/24 (火) 離脱(?)

なお、村山ジャンボまでの予行歩行は、WMS-HP 2019年4月に報告済です

<http://www.waseda-wms.net/ob2019report/ob2019report.html>

2. 私は間質性肺炎にて登りの呼吸が追いつかず、前回(2015年)は八合目からマイペースをお願いし強力な同伴者を付けてもらいましたが、山頂到着は本隊より遅れました。ペースを落とせば登れるので主治医も了解済です。ただし島堀さんへの相談事項です。

### ※ 追 伸

今のところWMSからの参加は私だけで、同行事の知り合いは畑堀さんだけで寂しいので、どなたか参加し同行してくだされれば心強いです。

#### 本山修験宗総本山 聖護院門跡 企画

### 第10回富士山峯入り修行 (参加者用)

昨年は多くの方々に準備のお願いをしましたが、新型コロナウイルスのため執行できませんでした。今年は諸情勢を慎重に見極め、万全の態勢で進めたいと準備を始まりました。

期日：2021年(令和3年)8月21日(土)～24日(火)の3泊4日。

コース・日程：京都は聖護院から先遣・草分俊顕師を迎えて、富士山峯入り修行は10回目になります。今回はこれまで行ってきた田子の浦～村山古道～富士山頂往復の行程に1日加えて、富士山東麓の須山に下り、御殿場・裾野両市の様子を巡回します。

《第1日目(8月21日・土)》アスファルト道(村山道)20\*km

参加費1万円+宿泊7700円

8:00 吉原・門前の宿(毘沙門天妙法寺まえ)集合・出発～鈴川海岸(水行)～富士塚～左富士神社～松栄堂薬局～日吉浅間神社(昼食)～鯛屋旅館～広見公園～村山道・道しるべ～杉田・次郎長町でのお接待～村山・興法寺大日堂 【村山ジャンボ泊】

《第2日目(8月22日・日)》=森林の中(村山古道)を標高差2000\*km

参加費5000円+宿泊8000円

4:30 村山・興法寺大日堂出発～札打場跡～天照教本社まえ(朝食)～中宮八幡堂～富士山スカイライン横断2回～岩屋不動跡～笹尾離跡～ノ木戸跡～高山植物帯～富士宮口新六合目 【宝永山荘泊】

《第3日目(8月23日・月)》=山頂往復・お鉢巡り

参加費5000円+宿泊8000円

4:30 宝永山荘発～ご来光～荒神岩～富士山頂(浅間大社奥宮)(柱源護摩供)～お鉢巡り～御殿場口登山道から下山～宝永火口～宝永山荘 【宝永山荘泊】

《第4日目(8月24日・火)》=須山御胎内からバス、三島まで

参加費1万円

4:30 宝永山荘発～巖岩～7:30 須山御胎内→雲切不動→須山観音堂→印野大日堂(光真寺)→胎内神社→後鬼前鬼神社→仁杉不動明王→鏡子口ノ滝→飯盛山不動明王→遙輝→金沢浅間神社→景ヶ島依久寺→十二神社→大畑大日堂→不動尊・淡島堂→三嶋大社→榎楽湯三島店(解散)

◆以上、初日の昼食から最終日の三島・榎楽湯まで、保険料+宿泊3+昼食4+夕食3+朝食3+拝観料・奉納金・先達乗馬代+温泉入湯料+マイクロバス代で53000円のところ、全日程参加の方は5万円に、学生の方は参加費半額で38000円とします。

◆一般の方の参加は自由です。途中参加・途中離脱・キセル参加も可能ですが、交通手段は各自でご用意ください。

◆第4日目だけ参加の方は、7:30 須山御胎内バス停に集合するか、御殿場駅前8:00 発十里木行きバスに乗って8:54 須山観音堂で下車してください。

◆遠方からの参加で第1日目8:00 出発に間に合わない方は、東海道本線吉原駅近辺に前泊してください。前日の20日夕刻、吉原駅前の「ビジネスホテル菊川」に前線本部を設置しますので、実費宿泊も可能です。

◆コロナ感染防止のため事前の健康管理に留意いただき、マスクや消毒液などの携帯をお願いします。

体調不良の方は参加を見合わせてください。山中からの離脱は困難を極めます。

◆天候の異変・参加者の体調などで到着時刻やコースを変更する場合があります。またコロナ感染の状況によっては全日程が中止になることもあります。

◆お申し込みの前に別紙「ご旅行条件書」「健康管理表」は必ずお読みいただき、出発2週間前から検温をお願いします。

#### ◆出発までの日程：

7月23日(金) 富士山峯入り修行の可否を判断、ホームページでお知らせします

8月2日(土) 参加申込書必着

8月7日(土) 参加者の検温開始(1日1回定刻)

8月17日(火) 参加費振り込み期限

8月18日(水) 旅行傷害保険加入

(参加費振り込みを確認して加入します。保険未加入の方は参加できません)

8月21日(土) 第10回富士山峯入り修行出発

#### お問い合わせ先

【事務局】山樂カレッジ 島堀操八 〒252-0813 藤沢市亀井野4-12-44  
ケータイ 090-2484-4195 TEL&FAX 0466-83-1373  
E-mail 37en-no-gyojya76@jcom.home.ne.jp ホームページ <http://sangaku-college.com/>

【聖護院門跡 草分俊顕】〒606-8324 京都市左京区聖護院中町15 聖護院  
TEL 075-771-1880  
E-mail shunken@shogoin.or.jp ホームページ <https://www.shogoin.or.jp/>

#### 旅行実施 富士川楽座旅行センター

国内旅行業務取扱管理者 静岡県知事登録旅行業 第2-585号 (社)全国旅行業協会正会員

笠原 壹 g [kasaani2610@gmail.com](mailto:kasaani2610@gmail.com)

〒233-0003 横浜市港南区港南 2-32-23

TEL : 045-846-1331

## (3) 広瀬舜一 OB (2021.07.02 手紙)

## MY HISTORY

“大分合同新聞”が2021年5月7日～28日まで、7回にわたって、広瀬舜一 OB (S38 年卒: 百名山完登者) のインタビュー記事を連載いたしました。その抜粋を掲載いたします。

全文を読みたい方は、以下にメールください。  
yukuemnamaekata@gmail.com



### ①一面焼け落ちた大空襲 <大分市を拠点にホームセンターチェーンを築いた広瀬舜一さん(82)。小学1年生の時、大空襲を経験した>

大分市は上紺屋町(現在の中央町)の生まれです。市中心部のカトリック教会がある辺りですね。家は代々、瀬戸物の問屋。九州一円で商売をしていました。父の民雄は幼いころ戦死したので、父についての記憶はありません。祖父の嘉平と母の美子に育てられました。

1945年7月、B29が大分に飛んできました。東京の親戚から空襲の状況を手紙で聞いていたので「いつかは来るだろう」と心構えはしていました。枕元に常にリュックを準備し、いつでも避難できるように外出着のまま寝ていたんです。

「バラバラ」と焼夷弾が落ちる大きな音が響き、同時に警報が鳴りました。ついに来た。志手のミカン山まで逃げました。上り着いた農家の納屋に逃げ込むと数十人の人がいて、ほっとしたのを覚えてます。

振り返って市中心部を見ると爆弾と焼夷弾で一面が火の海で、あちこちで炎が上がっていました。後で話を聞くと、火は佐賀関や戸次など12km離れた町からも見えたそうです。

終戦を迎えましたが、明日がどうなるか分からない時代。学校も例に漏れず、1年の戦時中は荷場町小にいたものの、その後学ぶ場を転々としてきました。

2年に上がり、学ぶ場は金池小に落ち着きました。物が無いので古い新聞紙に印刷された教科書でした。夏くらいでしたか、コッペパンを初めて食べました。校庭に小麦が植えられていましたね。米だって配給だけで満足にない時代です。美味しかったですねえ。

3年の時に初めて、運動会が開かれました。騎馬戦は先輩が“馬上”で取っ組み合い。荒っぽかったですけど楽しかったです。小学校時代では一番の思い出です。4年くらいから給食も始まりました。アメリカ支給の缶詰の肉団子と脱脂粉乳、匂いが嫌いでしたが栄養面ではいい物でした。

上野ヶ丘中に進学。1年の時は長浜小の校舎を使い、2年になって、現在の場所に校舎ができました。机や椅子を長浜から上野まで、1.5kmを全校生徒が抱えて運んだんです。

今も続けている山登りにはまったのはこの頃です。努力遠足では列車で由布院まで行き、由布院岳に登りました。町の子だったので、自然と親しむのが何とも言えず気分がよくてね。そういえば、今年の4月にも久住山に登ってきましたよ。

### ②学業と登山 両立の日々 <大分舞鶴高から早稲田大、そして大学院へ。学業と山登りを両立させる日々を過ごした>

舞鶴高には1954年入学。4回生です。先輩の少ない新設校。「締められ 頑張れ 粘れ 押し切れ」の舞鶴魂で名門上野丘を抜こうと、先生も生徒も必死でした。

1年の終わりごろ、胃の調子が悪くなりましてね。医師が肝臓の検査をしたら肝炎でした。勉強の夜食として飲んでいた粉ミルクに、ヒ素が混入していたんです。大きな社会問題になりました。そのせいで2～3年の時は山岳部どころか運動すらできず、体育は見学でした。

受験勉強、当時は「四当五落」が校内の合言葉でした。寝る時間が4時間なら合格で5時間なら落ちるという意味



ですね。軍隊帰りの先生たちに鍛えられ、早稲田に合格できました。

住んだのは練馬区の上石神井。当時は田園地帯でした。危険を感じたので、母から「岩登りはだめ」と山岳部入りを止められたので「山の会」という同好会に入りました。東北や南北アルプスの山々を中心に、4年間で200日は登山に費やしたかなあ。高校時代に運動ができず悔しかったので、通算で2千キロの走り込みも自主トレとしてやりました。

大学で2歳年下の彼女ができたのですが、4年になったころに振られてしまいました。学生運動が盛んな時代で、彼女の兄はいわば全学連の闘士。彼女から「あんたは何も考えないプチブルにすぎない」と言われ、落ち込んでもんもんとしましたよ。反省し「勉強してやる」と決意。見解と真逆のことが書かれていた梅棹忠雄・京都大学教授の著書「文明の生態史観」を読み、読書の面白さを再認識するとともに自信を取り戻しました。

大学院ではマーケティングを専攻しました。当時、米国から入ってきていた最先端の学問。枝葉末節にこだわらず物事の本質を掴むための勉強ができ、その後の企業経営に生かせたと思います。

社会に出てからどんな仕事をしたいかはずっと考えてきました。祖父から「瀬戸物は(商売のスケールが)小さい。大きな商売をしたいなら別の物を扱った方がいい」と言われていました。プラスチック製品が流通し、瀬戸物のウエートが小さくならうとする時代でもありました。

大学院終了後は企業で学ぼうと考え、大手の就職先も決まっていた。しかし「母の体調が悪いからすぐ帰って来い」との連絡が。63年、大分に戻りました。

**③ ヒントを得た米国視察** 〈1963年に帰郷し、瀬戸物の小売店を開いた。さらに大きな商売をしようと2度米国を視察。ホームセンター開業のヒントを得た〉

**④ 1号店出店 苦労の連続** 〈1978年、HIヒロセの1号店を大分市宮崎に開いた。店舗面積を1,500㎡から895㎡に削られ、計画通りの出店とはいかなかった〉

**⑤ 規制撤廃 新業態に注力** 〈HIヒロセはホームセンターと食品スーパーを一体化した大型店舗「スーパーコンボ」を展開。近年は業務スーパーの出店にも力を入れる。現在、4県36店舗まで広がっている〉

**⑥ 多くを学んだ「盛和塾」** 〈広瀬さんに大きな影響を与えた実業家が京セラの創業者、稲盛和夫さん(89)。稲盛さんの経営を学ぶ「盛和塾大分」の代表世話人を20年近く努め、研鑽を続けた〉

**⑦ 三つのありがとう 追及** 〈売上高(381億円)で県内企業のベスト10入りを果たしたHIヒロセ。謙虚にしておごらず、さらに努力を。感謝、利他の心と共に、座右の銘だ〉

～最後に～

若い人たちに伝えたいのは「人生に絶対の安定はない」ということ。変化に対応し続けられる能力と気概を持ち続けてほしい。

運を引き寄せるための心の姿勢を身に着ける。逆境下に置かれても明るく前向きな姿勢を貫くことで自分への「応援団」を増やす。どちらも、すてきな人生を築く上で大切なことです。

人生はいくつになっても初舞台。私ももうひと頑張りします。日本のあるべき姿を取り戻すために。



### 3. 稲門山の会の会員 (OB, OG) の近況

#### (1) 豊田紳二 OB (S47 卒)の登山報告

##### ① 角田山(2021. 04. 12 メール)

日 時： 2021 年 3 月 27 日(土)

山 域： 角田山 481.7m (越後)

メンバー： 豊田紳二 & 久子 計 2 名

コースタイム： 角田浜駐車場 10:00 - 灯台コースとの分岐点 12:42 - 角田山頂上  
12:44/13:24 - 角田岬灯台 14:44 - 駐車場 14:50

越後の角田山は花の名山。

雪割草に会いに行く。

雲空だが赤城 SA から残雪の上州武尊山や  
谷川岳、苗場山まで見渡せる。

関越トンネルを抜けると一面の銀世界



赤城高原 SA からの谷川岳



カタクリの大群落

角田浜に数か所ある駐車場はどれも満杯に近かった。数百台の殆どは新潟及び長岡ナンバー。

私有地を通る登山道はお年寄りと家族連れが多い。鶯の鳴き声の中を数分歩くと早くも雪割草の大群落が始まる。

イカリソウやキクバオウレン、キクザキイチゲ、ミチノクエンゴサクなども見られる最初の急斜面最上部で植生がカタクリの大群落に変わる。

ショウジョウバカマが多くなると間もなく灯台からの木道に合流。  
あっという間に角田山頂上。

頂上はなだらか。避難小屋や銅像、標識などがある山頂遊園地では多くの  
登山者が昼食、休憩している。



角田山頂上にて

帰路の灯台コースはカタクリと椿の花が多い。  
曇っているが佐渡島を遠望しながらの下山は爽快。



佐渡島遠望



角田岬灯台



角田浜

田ノ浦温泉に宿泊。

翌日、国上寺参拝の後、良寛和尚の五合庵など境内を散策。  
弥彦神社に参拝。長岡駅近くの河井継之助記念館を観覧。

### 【出会った花々】



カタクリ



トキワイカリソウ



キクバオウレン



キクザキイチゲ



ミチノクエンゴサクラ



ショウジョウバカマ

【ユキワリソウいろいろ】

白やピンク、濃淡様々な紫色のユキワリソウが咲き乱れている。  
殆どが六枚の花びら。八枚の花びらも見られる、十一枚の花びらが最多。



(記：豊田紳二)  
(花の記：豊田久子)

## ③高尾山(2021.04.17 メール)

日 程： 2021年4月10日(土) 快晴

山 域： 高尾山(877m)

メンバー： 吉田、奥野、立田、森村、岸父娘 & 豊田 計7名

コースタイム： 高尾山口駅 09:00 - 稲荷山コースへの分岐 9:55/10:00 - 高尾山頂上  
10:24/10:36 - 一丁平 11:05/13:08 - 城山頂上 13:32/13:38 - 千木良  
登山口 14:39/14:52 - 相模湖駅 15:40



高尾山頂上にて 吉田OB(右から3人目)と青年部のメンバー

千露里庵倶楽部青年部の月例登山。  
高尾山口駅の改札を出ると人・人・人。

沢沿いの六号路を進む。鶯が鳴き、スミレやシャガが咲いている。

人・人・人の高尾山頂上。丹沢などの山並が見える。富士山は雲の中、時々頂上が見せてくれる。写真を撮り、早々に下る。



大山から大室山の丹沢山系、高尾山頂上にて

一丁平で昼食。ワインで乾杯の後、焼肉を楽しむ。気が付くと二時間が経っている。

ほろ酔い気分には辛い登りに耐えると間もなく花の多い城山頂上。ここも人・人・人。桜は散っているがミツバツツジなど、赤・白・黄色の花が咲き乱れている。

(2/2)



城山山頂上にて



城山山頂上付近

城山からは千木良方面に下る。行き交う登山者も数パーティと少なくて静か。

〈 青年部の四月は高尾山で焼肉 DE ショー 〉 吉田さんの高級ワインで乾杯。吉田さん提供の牛タン、ハラミ、漬け込み牛肉、タンドリーチキン、計 1.3kg の肉を森村さんが事前に味付けしてくれた。岸農園のレタスとパセリが焼き肉と絶妙なコンビネーション。森村さんのミニシュークリームで締め。気が付くと二時間が経っている。



計 1.3kg の肉



立田スルタン自ら料理



岸青年部部長と森村シェフ



宴たけなわ

(記：豊田紳二)

## 4. 早大山の会の会員(現役学生)の近況

### (1) 山の会 2021 年度第 1 回新歓ハイキング (関八州見晴台)

WMS4 年 ; 橋本凌

日 程 : 2021 年 4 月 18 日(日)

メンバー : 橋本凌 海崎真穂 糸林秀真 他 16 人

行動計画 : 西武池袋線西吾野駅 9 時 20 分集合

西吾野駅(09:20)・・・大滝入口(10:20)・・・大滝(10:35)・・・高山不動尊  
(11:27)・・・関八州見晴台(12:00)[休憩 30 分]・・・高山不動尊(12:50)  
・・・瀬尾(13:50)・・・吾野駅(15:00)



ただいま下山いたしました。関八州見晴台での記念写真です。前日の雨でぬかるみが懸念されましたが、乾いており問題なく登れて良かったです。

### (2) 谷川岳(天神尾根)

WMS4 年 ; 齊藤壮呉

日 程 : 2021/5/4 天気) 快晴

メンバー : 齊藤壮呉(4 年), 小田(3 年), 櫛舎裕太(2 年)

コースタイム : 天神平 08:07 - 避難小屋 09:03 - 天狗の溜まり場 09:36 - ザンゲ岩  
10:14 - 肩の小屋 10:30 - トマの耳 10:47 - オキの耳 11:05 - 肩の小屋  
11:20 - 天神平 13:15

早朝 4 時までには高速に入れば深夜料金が適応されるということだったので、3 時半に出発、高速から日の出を見て、土合の駐車場到着は 6 時前。車で仮眠、少し寝すぎて 7 時半にロープウェイへ。



まだらに雪をかぶった山肌にテンションが上がる。ロープウェイから木に登った小熊を発見。遠目にみればかわいいけど…(画像中心から少し左の黒いものが熊)

ロープウェイ駅前で6刃アイゼンを装着し、出発。最初はスキー場の横を上がっていく。この日一番の急な斜面だった。気温も高く、登りにくい緩めの雪。



急登を終えると尾根と谷川岳が現れた。少し休んでいるとヘリが飛んでいるのが見えた。(画像山頂付近の黒い点が減り) その日中ずっと飛んでいたのになんとか理由はわかっていたが、登山を終えてから調べてみると案の定、遭難者の捜索だった。



ここから避難小屋まで緊張するトラバースが続いた。これは下りのときの写真で、登りのときはあまり写真をとっている余裕がなかった。

どうにか切り抜け、避難小屋まで到着すると、その後は特筆して危険な点もなく、のんびり登山だった。岩場もアイゼンをはいたままガシガシ登っていく。



頂上手前の雪原。下の、最初の急登の雪よりもしっかりしていて登りやすかった。もしくは、アイゼンでの歩行に慣れてきていたからだろうか。こうゆうところを一度歩いてみたかった。雪は音を吸収すると聞いたことがある。風もなく、とても静かで、少し眠くなった。



めちゃくちゃ歩きたくなる稜線と、肩の小屋にて、スクリーンショット。左から齋藤、小田、楢舎。本当に晴れてよかった。また、デスクトップを変えなければ…。下りは雪をクッションにしながら軽快に下ることができた。トラバースが、登りより雪が柔らかくなったりしたら嫌だなと思っていたが、雪質はあまり変わっておらず、多くの人が通ったおかげでむしろ歩きやすくなっていた。今回はメのラーメンは無し。

## (2) 瑞牆山・金峰山 山行報告(2021. 03. 24 メール)

WMS4 年 佐藤志龍

～初めに～

2021年6月12・13日での一泊二日瑞牆山・金峰山の個人山行に行ってまいりました。個人的に写真を撮るのが好きなのでカメラを持って行ってまいりました。写真アルバムの感覚で写真を貼ってみますので、軽く見ていただけたら嬉しいです。1日目は瑞牆山で天候は時折、晴れ間が見えました。翌日は金峰山を目指しましたが、尾根では雨にも降られました。ガスったりと、天候には振り向いてもらえませんでした。登山としては非常によい経験になりました！！

日 程： 2021年6月12日～13日

メンバー： 佐藤志龍(2年)、綿貫孝哉(慶応大学1年)

コース： (1日目)みずがき山荘-富士見平小屋-瑞牆山-富士見平小屋

(2日目)富士見平小屋-大日小屋-砂払ノ頭-金峰山-朝日岳-大弛峠-国師岳  
-北奥千丈岳-大弛峠-大弛小屋バス停

～写真と感想～

※スマホは横向きにして見てみてください！

## 【写 真】

## 【行程・感想】

【1日目】 瑞垣山荘⇒富士見平小屋⇒瑞牆山⇒富士見平小屋(テント泊) 曇り時々晴れ



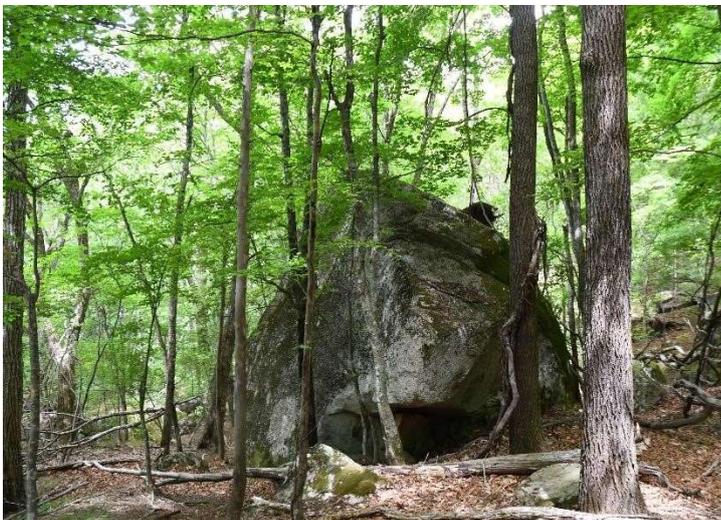
韮崎駅から瑞垣山荘までのバス 2067円は少し高い… 満員で立ちました。



瑞垣山荘到着  
駐車場からあふれた車が路駐してて、バスが通りにくそう。人多かったです。



セミの抜け殻  
ツクツクボウシの音が、なんか懐かしく感じる。  
登山開始！！



ハウルの動く城のオームみたいな岩



富士見平までの道中岩登りも楽しそう



今回の荷物  
夏山なので軽くできましたが  
予備の水 2L  
ダウンの寝袋がでかい..  
でも冬用寝袋で正解でした！



富士見平小屋到着！！ 人が多い～  
かき氷食べたかった。瑞牆ビールは成人  
したら飲みに来よう(あと半年！)



見えてきたぞ、瑞牆山



岩の隙間に棒を立てる文化があるのでし  
ょうかw  
深海魚みたい



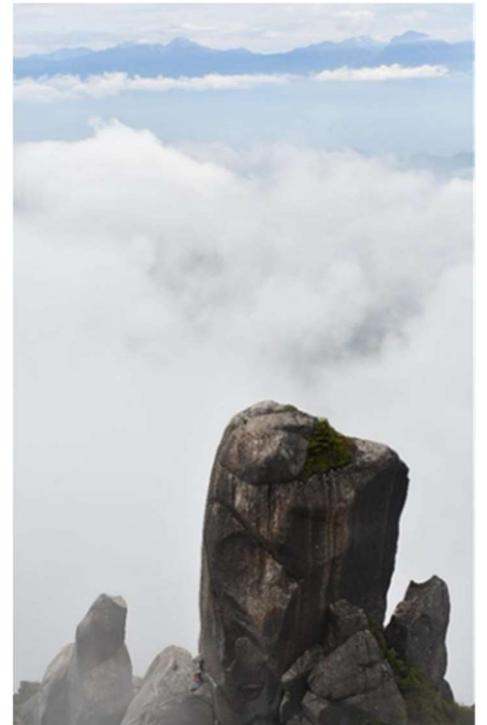
右 このまま晴れてくれ！！

左 瑞牆山の隣の大きな岩  
(大やすり岩)

クライミングしている人もいました。



瑞垣山到着！！霧が掃けて、ベストタイミングで登頂！！とてもきれい



南アルプスと、先の大きな岩のツーショット  
岩の左下に人がいます！！  
昼食は梅とツナマヨのおにぎり  
でした。



富士見平小屋まで戻り、テント泊日没が割と遅く  
ご飯を食べて 20 時には就寝。  
寝袋のおかげでぐっすりでした。

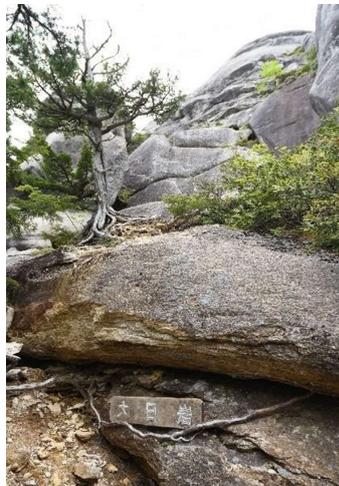
【2 日目】 富士見平小屋⇒金峰山⇒朝日岳⇒下山 曇り時々雨



山荘を出ていきなり上りで朝から洗礼を受けました。  
これだけ南アルプが見えると、今度行きたくなくなってしまう。  
夏休み行くか…



大日山荘，登山道から降りたところにあり，怖くてスルー



大日岩！！ 少しくライミング要素があり大満足

昨日の瑞牆山があんなに遠くに，山田と自分がどんだけ歩いたかを3Dで見れて楽しい。





正直、今回雨だしやめたいと思ったけど、やっぱりこの景色見ると来てよかった、そう思う。山には不思議な力がありますよね。



高地の植物もかわいい。

下ではもう新芽が出てても、上ではまだつぼみです。



金峰岩？(五丈岩)  
青空と撮ったら完璧 単位をください  
山から見ててください ^^



甲府名山！！





この「うっそうとした雰囲気」  
大好きです。



岩だと根が深くまで行かないんですかね



鉄山！  
には規制ロープがありいけませんでした。

今回取った写真の半分は苔が映っていました。

朝日岳です！！  
ここからは下るだけでルンルンだったので、  
カメラをしまい、颯爽と下山しました。

～最後に～

最後までご覧いただきありがとうございました。

授業の合間で作った簡単なアルバムでしたが、自分自身の振り返りにもなり楽しかったです。私自身昨年から山の会に入会していますが、このようなご時世であり、卒業された先輩方と会えずに残念でなりません。また皆様と直接お話ができるのを楽しみにしております！最後にどんな顔のやつが話しているかご参考までに今回の写真を貼らせて頂きます。

ご覧いただきありがとうございました。皆様もコロナに負けずご健康お祈りしております。



(左；1 日目の余裕な佐藤，右；2 日目の疲れた佐藤)

## (4) 北 岳

WMS4 年 ; 小田直輝



山行報告書 2021 年 7 月 4 日 早稲田大学山の会 3 年

日 程 : 2021 年 6 月 26 日 27 日 ・天候 1 日目曇り、2 日目晴れのち曇り

メンバー 3 年 : 小田、3 年海崎、3 年小澤、2 年櫛舎

コースタイム 【1 日目】 広河原 (06:50) …白根御池小屋 (9:00) …小太郎尾根… (12:00)  
 …北 岳 肩ノ小屋 (12:30) 【2 日目】 北岳肩の小屋 (5:20) …北岳  
 (5:50) …30 分休憩 (6:30) …北岳肩の小屋 (6:50) …テント 回収、休憩 (7:40)  
 …小太郎尾根 (8:10) …白根御 池小屋 (9:20) …広河原 (11:50)

## 【1 日目 北岳肩の小屋まで 晴れのち曇り】

前日、終電で西武池袋線小手指駅に集まり深夜一時に出発、2 年櫛舎の運転で芦安駐車上まで車で移動。早朝 4 時前に芦安駐車場に到着し、5 時まで休憩をとり、支度を行い、5 時 30 分発の広河原行きバスに乗車。広河原到着後 6 時 50 分アタック開始。広河原での登山客はとても多く、そのうち六割ほどの登山客が分岐ののち大樺沢方面に進んでいた。



図1 アタック開始、奥3年海崎、手前2年櫛舎



図2 原生林、登りが急

登り始めは晴れていたが、時間がたつとともに曇りになっていき少し不安になっていった。白根御池小屋までのルートは深い原生林の中でとても気持ちがよかった。台風などの災害があったせいか倒木や土砂崩れの跡があり元々の登山道がなくなって新しく整備された登山道になっていた。白根御池小屋で少し休憩したのち、草スベリを登り始めた。草スベリ後半の標高 2700m 地点ぐらいから雲の中に入ったと推測でき、40、50m 先は霧で見えないという状況になってしまった。これが俗にいう「ガスってる」なのか。私個人としてはこの草滑りは斜度がキツく体力的にとってもしんどかった。



図3 草スベリ、やはり斜度がきつい



図4 草スベリでバテる3年小田

その後、草スベリを終え、稜線に出てからは肩の小屋までなだらかな道が続き体力的に余裕が出た。また、高山植物のお花畑に遭遇しメンバー全員、興奮状態になった。この時、キタダケソウを発見することができ、とても嬉しかった。

12 時半、肩の小屋到着後、少し休憩を取り、夕食のカレーを2年櫛舎、3年小澤が作ってくれた。3年小田と3年海崎は肩の小屋から少しある水場に水を汲みにいくことに…なんとその水場まで

の道は一般の登山コースではなく、私（小田）は荷物を持っていないのにも関わらず、全行程の中で一番しんどい場所だったと記憶している。また、おそらくこの帰りの登りで腰を痛めた。あまりにもしんどすぎて、写真を撮る余裕がなかった。水場の位置は図5の写真中央の残雪から少し下りた場所である推測できる。

夜、17 時ごろから雨が降り出し、フライシートがなかったことからテントが濡れてしまった。3年海崎、小澤が使用していたテントは古く、テント下から水が入ってきてしまった。幸いにもエマージェンシーシートを持ってきていたことが良く、それを敷くことで水の染み込みを防ぐことができた。テントのフライシート、エマージェンシーシートの必要性を再確認できた。



図5 テント場からの北岳の崖



図6 北岳肩の小屋 北岳バッジと

#### 【2日目 北岳登頂と下山 晴れのち曇り】

4 時半に起床し、テントから出ると幸いにも晴れ間が見え、希望が沸いた。朝食を済ませ、支度を行い、5 時 20 分北岳山頂を目指してアタック開始、大きい荷物はテント場に置き、最小限の荷物を持ち、軽身で登ることができたため 30 分で北岳山頂に登頂することができた。北岳山頂からは富士山、鳳凰三山、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、中央アルプスの峰々が眺められ、とても感動的だった。



図7 北岳登頂を喜ぶメンバー



図8 北岳横の岩に登る 左から小澤、楠舎、海崎、小田北岳登

頂後、テント場に戻り、休憩、テント撤収、下山に向けての準備を行い、7 時 40 分に肩の小屋を後にした。下山時の稜線はとても天気良く、いい写真がたくさん撮れた。下山については終始安全に注意して、無事 11 時 50 分に広河原に到着することができた。



図9 下山時の稜線



図10 下山後のザックと車

### 【北岳の植物と動物たち】

今回、私（小田）は初めてのアルプスで高山にしか生えないハイマツをどうしても見たいとずっと思っていた。そのため稜線に出て少し赤みがあったハイマツを見たときはこの上なく興奮した。また、OBの方達が教えてくれたキタダケソウについても発見することができ、とても嬉しかった。動物に関して、私（小田）は残念ながらライチョウを目撃することはできなかったが、3年海崎と2年櫛舎はライチョウらしき鳥を目撃することができたみたいだが写真に収めることはできなかった。代わりにテント場でイワヒバリを目撃することができた。イワヒバリは人間になれているせいか私たちの近くまで来てくれ私たちのテント撤収を眺めていた。2日目白根御池小屋まで下山して休憩している時に素早く何かを通ったと思ったらなんとも可愛らしいオコジョであった。その可愛さに私たちも魅了された。



図12 赤みがあったハイマツ

← 図11 キタダケソウ



図 13 イワヒバリ



図 14 オコジョ

#### 4. 総括

今回の山行は山行前からメンバー全員で積極的にコミュニケーションを取り、ルートや荷物、役割分担について濃密な協議ができたため、山行中は一人一人が役割を全うすることができた。この経験から山行を成功させるためにはパーティーのコミュニケーションがとても大切であると感じた。

荷物に関してはやはり再検討に余地があるのではないかと感じた。私としては余分な荷物を多く持ってきてしまったため荷物が重くなってしまった。次はパッキングについてより良い工夫ができたらと思う。

梅雨の時期にあるにも関わらず、行動中は雨に合わないというとても天候に恵まれた山行であった。体力的にとてもしんどい山行だったが、この山行を安全に成功させることができたことからとても自信がついた。これからは北アルプス、特に夏休みに槍ヶ岳穂高岳の縦走をクリアできるように日々トレーニングを行いたい。山に対して自信がついたものの、これからも山行を行うときは初心を忘れることなく安全に山行を成功させることを第一に山と向き合っていきたい。